



株主通信

第91期中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

株式会社ジャックス

証券コード：8584



取締役社長(代表取締役)COO

山崎 徹



取締役会長(代表取締役)CEO

板垣 康義

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い収束と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

ここに、株式会社ジャックス第91期(2021年4月1日～2021年9月30日)中間報告書をお届けします。

皆様には、より一層のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

第91期第2四半期経営成績と 通期見通しについて

新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない状況下で各事業戦略を着実に進めてきたその結果、国内のクレジット事業では、巣ごもり消費などによる関連商品の増勢や輸入車ディーラーを中心に取扱高が拡大しました。ファイナンス事業においても、提携先との安定した取引により、住宅ローンの取扱高が堅調に推移しました。また、事業基盤の強化を目的にオートリースやカード決済に関する業務提携(P3参照)を行い、今後の成長を見据えた取り組みも進めました。一方、海外においては、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出制限や営業自粛等の影響で厳しい経営環境が続くなか、業績回復に向けた体制整備や支援強化等を行いました。

費用面では、金融費用の減少や国内・海外ともに貸倒関連費用が抑制されたことにより減少しました。

これらの結果、第91期第2四半期累計期間の営業収益は817億円(前年同期比2.2%増)、経常利益は140億円(同

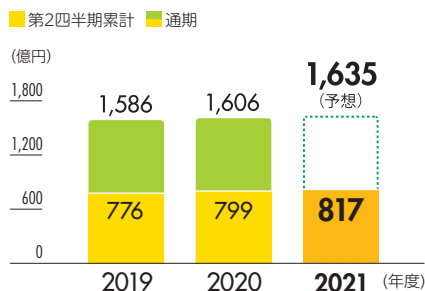
159.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は97億円(同106.2%増)となり、当初の業績予想(2021年5月13日公表)を上回りました。

第91期も残すところあと4カ月となりました。当期は、2022年度を初年度とする第14次中期経営計画のスタートを控えた極めて重要な期間となります。当社は引き続きコロナ禍で顕在化した課題の解決と海外事業の業績回復に向けた取り組みを鋭意進めていきます。また、デジタル技術を活用した全社横断的な取り組みの加速により競争力を高め、持続的な成長につながる事業展開を目指していきます。

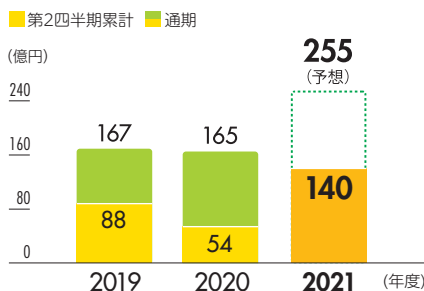
当期の連結業績は、営業収益1,635億円、経常利益255億円、親会社株主に帰属する当期純利益175億円を予想しています。

また中間配当は、配当方針および業績予想の修正等を踏まえ、当初予想から15円増配し、1株当たり75円とさせていただきます。期末配当も1株当たり80円とし、年間配当は155円を予定しています。

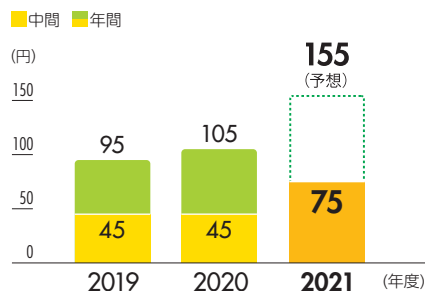
連結営業収益



連結経常利益



配当



新市場の基準をクリアし、プライム市場を選択

当社は2021年7月、2022年4月より適用となる東京証券取引所(東証)の新市場区分において「プライム市場」の上場維持基準に適合しているとの一次判定結果を受領しました。これを受けて、同年9月開催の取締役会において「プライム市場」を選択することを決議し、

10月に正式に申請書を提出しました。今後、より高い水準のガバナンスが求められることを踏まえ、改訂コーポレートガバナンス・コードへの対応なども意識しながら、サステナビリティ方針を策定するなど必要な体制を整備していきます。

現在の市場区分

東証第一部	ジャスダック
東証第二部	スタンダード
マザーズ	グロース

新市場区分

プライム	スタンダード	グロース
グローバルな投資家との建設的な対話を中心に据えた企業向けの市場	公開された市場における投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた企業向けの市場	高い成長可能性を有する企業向けの市場

オートリースのサービス強化に向けて、三菱オートリースとの業務提携を開始

当社は、子会社のジャックスリース、三菱オートリースとの3社間で、個人向けオートリース事業のサービス拡充等を目的とする業務提携を2021年10月から開始しました。従来のオートリースの枠組みを超えて時代に応じたサービスを検討・開発し、業績や企業価値の向上につなげていきます。



決済事業のさらなる拡大に向けて、日本決済情報センターと業務提携を開始

当社は2021年10月、日本決済情報センターと人材交流を含む業務提携を開始しました。本提携はクレジットカードや電子マネーの取扱い加盟店拡大と決済事業の強化を目的としたものです。幅広いニーズに応じた質の高い決済サービスを提供し、事業の拡大を目指していきます。





社外取締役 岡田 恭子

今期選任された女性社外取締役のご紹介

岡田取締役は、1982年に株式会社資生堂へ入社し、CSRや企業文化活動に取り組まれてきたほか、上場企業の社外監査役も兼職され、企業経営の知見もお持ちです。今回、就任にあたって抱負などを伺いました。

Q1

ジャックスの取締役会にはどのような印象を抱きましたか。

社内外のメンバーが忌憚のない意見を交わしあう、いわゆる心理的安全性が確保された機関だと感じます。経営トップは多様な意見に耳を傾ける柔軟な姿勢を持ち、質問や要請への対応も迅速です。今後、社内メンバーの構成にはさらなる多様性が求められると考えます。

Q2

自身の社外取締役としての役割は何だとお考えですか。

私は化粧品会社に長く勤務し、当社のほかに、自動車会社や製紙会社でも社外役員を務めています。業種や業態は違えど、各社が直面する課題には共通点も少なくありません。こうした私自身の経験を活かして、変化の激しい時代の経営はどうあるべきかを考え、貢献していきたいと考えています。

Q3

就任前と就任後で当社の印象は変わりましたか。

漠然としていた信販会社の事業へのイメージが、「日々の生活や人生の節目にとっても身近なもの」へと変わりました。当社のビジネスは時代を映す鏡であり、それゆえ未来を大胆に読む力が求められます。社会にアンテナを張るうえで欠かせないコミュニケーション能力が当社の皆さんは高いこともその現れだと捉えています。

パラリンピック2020 シットイングバレー日本代表を応援

当社は障がい者スポーツの発展に向けて、日本パラバレーボール協会とスペシャルパートナー契約を締結しています。2021年8月には、パラリンピック2020(東京パラリンピック)の開催にあたり、シットイングバレー日本代表へ向けた応援メッセージを社内で募集し、フラッグに寄せ書きしてお届けしました。



● 連結決算ハイライト

損益状況 (各年度の4月1日～9月30日)	2020年度	2021年度
取扱高 (百万円)	2,395,061	2,617,083
営業収益 (百万円)	79,988	81,780
経常利益 (百万円)	5,415	14,039
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	4,708	9,708
配当金 (円)	45	75

キャッシュ・フロー (各年度の4月1日～9月30日)	2020年度	2021年度
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△51,116	△65,946
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△5,231	△3,512
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	118,570	104,066

財政状態	2021年3月31日時点	2021年9月30日時点
総資産 (百万円)	4,484,954	4,617,803
純資産 (百万円)	174,152	184,002

● 事業部門別の概況(個別) 各年度の4月1日～9月30日

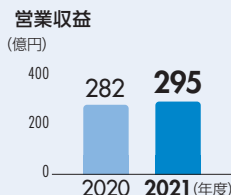
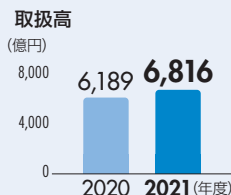
※当会計年度より事業区分の項目変更をいたしました。
過年度については遡及適用されています。



クレジット事業

ショッピングクレジットでは、住宅関連商品や高級腕時計が堅調に推移。新しい生活様式の浸透を背景に、ペットやメディカル分野の取扱いも拡大しました。

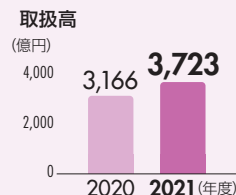
オートローンでは、各インポーターの販売戦略と連動させた施策、中古車販売店での各種施策が奏功し、取扱高・営業収益が増加しました。



ファイナンス事業

投資用マンション向け住宅ローン保証では、効率的かつきめ細かな営業活動の推進により取扱いシェアを維持し、取扱高・営業収益が増加しました。

銀行個人ローン保証では、主力のマイカーローンを中心に取扱高が増加しましたが、平均保証料率の低下により営業収益が減少しました。

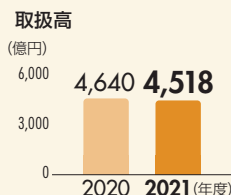


カード・ペイメント事業

カード分野

カードショッピングでは、緊急事態宣言の発令により個人消費が低迷したことで、取扱高・営業収益が減少しました。

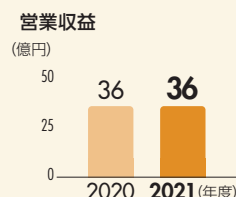
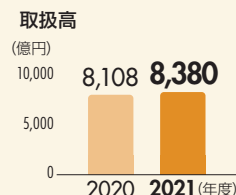
カードキャッシングでは、資金需要が低下した前年度からの反動で取扱高は増加しましたが、営業収益はキャッシング残高の減少により減収となりました。



ペイメント分野

家賃保証では、前年度に契約した提携先からの上積みも寄与し、取扱高・営業収益が増加しました。

集金代行では、緊急事態宣言の影響は限定的なものに留まり、提携先のスポーツクラブやスクールの施設休業が多数発生した前年度からの反動もあって、取扱高・営業収益が増加しました。



● 会社概要/株式の状況 (2021年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社ジャックス
設立年月日	1954年6月29日
資本金	161億3,818万円
本店所在地	北海道函館市若松町2番5号
本部所在地	東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
従業員数	2,803名

株式の状況

発行可能株式総数	78,910,000株
発行済株式総数	35,079,161株
単元株式数	100株
株主数	18,700名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱UFJ銀行	7,015	20.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,001	8.66
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,254	6.50
ジャックス共栄会	1,607	4.63
第一生命保険株式会社	1,359	3.92
明治安田生命保険相互会社	1,275	3.68
ジャックス職員持株会	985	2.84
RE FUND 107—CLIENT AC	600	1.73
日本生命保険相互会社	588	1.69
三菱UFJ信託銀行株式会社	564	1.62

(注) 1. 持株比率は、自己株式(438千株)を控除して計算しております。
2. 持株数及び持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

株式会社ジャックス

本部 〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311 (代)

当社ホームページをご覧ください。 <https://www.jaccs.co.jp/>

● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.jaccs.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、 日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

**UD
FONT** 見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

